

多様な取り組み実践

入賞校一覧

第12回エネルギー教育賞

社会との関係、的確に捉え

バリアフリーの教材制作も

21校入賞

「第12回エネルギー教育賞」の最優秀賞と優秀賞の受賞校を決めるため、このほど最終選考会（委員長＝有馬朗人・元文部相）が都内、中学校・高校・高専の各部門での応募内容を精査し、活発な議論が行われた。当日欠席した

「第12回エネルギー教育賞」の最優秀賞と優秀賞の受賞校を決めるため、このほど最終選考会（委員長＝有馬朗人・元文部相）が都内、中学校・高校・高専の各部門での応募内容を精査し、活発な議論が行われた。当日欠席した

■最優秀賞（正賞の盾および副賞50万円）

【小学校の部】いわき市立好間第二小学校（福島）

【中学校の部】該当なし

【高校・高専の部】筑波大学付属聴覚特別支援学校（千葉）

■優秀賞（表彰状および副賞10万円）

【小学校の部】▽札幌市立緑丘小学校▽札幌市立円山小学校▽山形大学付属小学校▽郡山市立小泉小学校（福島）▽京都市立朱雀第四小学校▽大阪市立東粉浜小学校▽大牟田市立明治小学校（福岡）▽鹿屋市立寿北小学校（鹿児島）

【中学校の部】▽和歌山県立向陽中学校※選考委員会特別賞▽京都市立西京高等学校付属中学校※選考委員会特別賞▽札幌市立白石中学校

【高校・高専の部】▽岩手県立黒沢尻工業高等学校▽山形県立酒田光陵高等学校▽福島県立安達高等学校▽石川県立工業高等学校▽兵庫県立北須磨高等学校▽兵庫県立洲本実業高等学校▽和歌山工業高等専門学校▽新居浜工業高等専門学校（愛媛）

を實現するとともに、エネルギー教育により、エネルギーと環境・産業のつながりをし、字幕付きの映像資料などの教材制作により、他校への水平展開を図る筑波大学付属聴覚特別支援学校（千葉）が最優秀賞に選ばれた。

中学校の部では、最優秀賞は該当なしとしたものの、優秀校3校の中から、選考委員会特別賞を和歌山県立向陽中学校、京都市立西京高等学校付属中学校に授与することになった。向陽中学は環境学習としての系統的な学習が、西京高校付属中学は技術・家庭科の教諭による取り組みがそれぞれ評価された。

応募総数は前回と同じ46校。小学校15校、

最優秀賞受賞校コメント

児童の意欲向上
効果一層高める

好間第二小学校
江尻陽子校長

児童は実験体験やものづくりを楽しむ、エネルギー・環境教育への意欲を高めています。

本校のエネルギー・環境教育は、生活科・理科・総合的な学習の時間等を中心に、科学関連施設・高専・大学・企業・地域の専門家との連携を積極的に行い、専門的でダイナミックな事業を展開しています。その過程で児

生きた知識追求
世界視野に邁進

筑波大付属聴覚
特別支援学校
原島恒夫校長

本校がこのような最優秀賞を受賞したことについて、関係の方々

中学校10校、高校・高専21校だった。

選考委員は次の通り。（五十音順）
▽有馬朗人（選考委員）（静岡大学教授）▽田公彦（山形大学教授）▽木村孟（大学改革支援・学位授与機構顧問・名誉教授）▽熊野善（科学ジャーナリスト）

